

仏具用木製品の製造技術を生かし、外国人が好む和風インテリア照明の新商品や国内向けの新たな仏具を開発。
海外市場や国内で新たな販路作りのベースを構築する。



細川 光志さん 有限会社 光洋工藝 代表取締役社長

木工職人の長年にわたる熟練した技術と機械加工だからこそできる利点を融合させ、自社オリジナル製品の開発に取り組んでいる。どこにもない、ここでしか作れないオリジナル製品をつくり出していき、新たな販路を開拓したい。



有限会社 光洋工藝

平成
27年度

事業計画名 外国人が好む和的木工製品への進出と国内向け仏具の新商品開発



▲灯殿

▲蔵

海外市場向けに開発した和風インテリア照明の新商品「光の郷」。「蔵」と「灯殿」の2種類ある

取り組みの経緯

同社は仏具・葬祭用木工品を主に製造・販売。白木を使用した盆灯籠を中心に、桐箱、幼児向けの玩具なども手掛けている。主力製品は新盆用お迎え木製灯籠、盆棚、祭壇、葬祭用木工品などである。

これらの市場は安定しているが、「新たに付加価値の高いオリジナル木工品を開発し、将来を見据えたモノづくりのベースを整備したいと考えました」と細川光志社長。創業以来培ってきたノウハウや経験を生かし、主に海外市場を狙って木が持つ「和」の風合いを最大限に引き出した外国人好みの木工製品と、国内市場向けとして組み立てが簡単な新しい形状の仏具用製品の試作を開始した。

曲線や波形など、複雑な形状をした木工品は、職人の手による加工が一般的だが、同社は木製品を三次元加工できる設備機械をすでに導入。コンピュータプログラムによる加工品を製作、一部製品化して

いる。金属加工と異なり、木製品の場合は材料一つひとつに堅さや木目の方向など違いがあるため、木工職人と機械加工担当者の共同作業により製品化を実現している。

この設備を用い、利益が得られる販路・ターゲットを絞り込んだ新商品の開発が今回のテーマとなった。

事業の具体的な内容及び成果

木材用の三次元加工機械と職人の技を融合して作り上げるオリジナル木工品を目指し、プロダクトデザイナーに依頼して形状、大きさ、購買層、さらには商品名、コンセプトなどの検討に入った。海外市場向けの新製品は、木製灯籠などの仏具を製作してきたノウハウを踏まえ、外国人好みの和風インテリア照明に決定。10種のデザインから2種を選定し、訪日外国人がお土産として持ち帰ることを考慮に入



使用例。旅館の和室、和食の飲食店等での需要も見込む

事業概要

仏具用木製品の製造技術を活用し、外国人向けの和的な装飾品で海外新市場を開拓するベースを構築するとともに、新製品の仏具を開発し、簡単な組み立てを希望する新規顧客層を開拓する。

れ、大きさと電源を検討した。試作を繰り返し、電池式とLED光源を採用したオリジナルの木製和風インテリア照明を完成させた。

商品名は「光の郷」。日本の懐かしい時代を思わせる蔵をモチーフにした「蔵」と、街灯や行灯をイメージした「灯殿」の2種類をラインナップした。

試作の過程で壁にぶつかった。曲線を組み合わせた複雑な形状は、三次元加工機械だけではうまく加工できず、かといって一つひとつを木工職人が仕上げていくのではコストも時間もかかってしまう。機械加工担当者と木工職人が知恵を出し合い、互いの利点を融合させて量産が可能な体制を構築した。

国内市場向けの新しい形状の仏具用製品もプロダクトデザイナーに依頼し、商品化を目指して試作の段階までこぎつけている。



製品の特徴を十分に伝えるためのフライヤーも作成した

事業成果の活用・今後の取り組み

海外市場向けのオリジナル新商品「光の郷」が完

成したのを受け、販路開拓の検討を開始した。キャッチコピー、広告デザイン、ターゲットを見据えた販売戦略の立案を現在模索している。

通信販売、大規模小売店のインターネットショッピング、実店舗での販売など、「効果的な販売戦略について専門家に依頼し、短期間で利益が出るような方法を得ることを目標に、検討を重ねています」と細川社長。いくつかの候補を絞りながら、2017年7月下旬、第1弾の販売をスタートさせた。

「光の郷」は当初から外国人を主なターゲットにしているが、製品の特徴から和の雰囲気を生かす旅館や飲食店なども購買層として有望と判断。海外だけでなく国内のマーケットも開拓していきたい考えた。今後、機械加工と職人技、それぞれの利点の融合から生み出される木製品のさらなる可能性を信じて、取り組みを重ねていく。

有限会社 光洋工藝



〒319-0111 小美玉市中野谷48-1
TEL.0299-36-8005
FAX.0299-36-8006
<http://www.koyokogei.com>
資本金：300万円
従業員数：10名

白木を使用した木製灯籠を中心に、盆棚、葬祭用木工品等の宗教用木工品、幼児向け木工玩具、桐箱等を製造販売。職人の技が生きた製品を作り続けている。